

# あきる野市 生涯学習シンポジウム

## 「市民が主体の生涯学習」 ～みんなで進めよう 学んで生かす “あきる野の生涯学習”～



ポジウムを開催します。

日時 3月5日(土) 午後1時15分～4時  
場所 あきる野ルピア3階ルピアホール  
基調講演 宮林徹教育長  
パネラー 千田洋子さん(いずみの会生活学校代表)、白橋山誠氏(秋川歌舞伎保存会あきる野座座長)、青木勇(生涯学

### 市民企画講座

習推進担当(参事) コーディネーター 瀬沼克彰氏(桜美林大学名誉教授)  
特別演奏 岩佐扇靖さん(扇靖流家元) ほかによる大正琴演奏  
定員 150人  
参加費 無料  
企画・運営 生涯学習コーディネーターの会  
問合せ 生涯学習推進課 生涯学習係(直通558・2438)

### 樹木医と診る あきる野の山

〓 落合・寺岡地区、長岳尾根から瀬音の湯まで  
日時 3月12日(土) 午前9時30分～午後3時(小

### 市民解説員発表会

あきる野の風土が育んだ文化  
市民解説員による学習・研究成果、活動体験などの発表や作品展示を行います。  
公開講演 市民解説員の学習講座を受講してみませんか。  
日時: 2月25日(金) 午前10時～正午  
テーマ: 史料でたどる武蔵小川氏とその登場から薩摩への西遷まで  
講師: 浜江芳浩氏(あきる野市文化財保護審議会委員)  
対象: 市内在住・在勤の方  
定員: 30人(申込み順)  
申込み方法: 電話か窓口で申し込んでください。  
解説員発表  
日時 2月25日(金): 午後1時～4時  
\* 2月26日(土): 午前10時～午後4時



### 秋川溪谷瀬音の湯

市民割引と 休館日のお知らせ  
平日のご利用に限り、市内在住の方を対象とした市民割引を実施しています。秋川溪谷瀬音の湯の入浴券売機で、あきる野市民専用(500円券)の入浴券を購入し、市民であることが証明できるもの(運転免許証や健康保険証など)と一緒に受付に提示してください。  
施設の点検・整備に伴い、3月9日(水)・10日(木)を休館日とさせていただきます。  
割引内容 入浴料金、大人(中学生以上) 800円(中学生以上) 800円

円を500円に割引  
割引対象日 月曜日、金曜日(土曜・日曜日、祝日は割引できません。)  
その他 回数券の利用者は対象外となります。また、国民健康保険と後期高齢者医療保険に加入の方は、従来どおり、土曜・日曜日、祝日などの割引券(大人600円)が利用できません。  
問合せ 秋川溪谷瀬音の湯(5955・2614)、商工観光課観光推進係(直通558・1893)

# 森林 レンジャー がゆく (9)



両生類の産卵期

あきる野市では、1月下旬からアカガエル、カエルの仲間やアズマヒキガエルが産卵を始めます。カエルの産卵は、

梅の開花とともに、「春がやってきた」と言う季節を感じさせてくれます。現在、市内には日本在来の両生類が14種類生息しています。種類ごとの産卵期に合わせ、7月までには全ての両生類の産卵が行われます。1月から3月までにはアズマヒキガエル、ニホンアカガエル、タゴガエル、ナガレタゴガエル、ヤマアカガエル、そしてトウキョウサンショウウオの産卵が行われます。4月から7月は、アマガエル、トウキョウダルマガエル、ツチガエル、シユレーゲルアオガエル、モリアオガエル、カジカガエル、アカハライモリやヒダサンショウウオの産卵が行われます。種類によって産卵の方法はさま



ざまですが、特に、シユレーゲルアオガエルやモリアオガエルの泡巣、サンショウウオの仲間のバナナ状の卵のう、アズマヒキガエルの長いひも状の卵のうが特徴的です。  
ふ化した幼生は、夏の終りまで水中で見ることができますが、ヒダサンショウウオの幼生など、種類によっては水中で越冬するもの

もいます。また、成体は、秋になっても森の中で活動している様子を見ることが出来ます。このように、両生類はほぼ年間を通じて観察する事ができますが、私が、両生類の活動の中で毎年一番楽しみにしていることは、生命の誕生である産卵期が始まることです。両生類はそれぞれの環境により生息する種類が異なりますので、皆さんもあきる野の自然とふれあいながら両生類の産卵を観察してみませんか。  
現在、市では自然環境調査部会で市内の動植物や地質の環境調査を行っています。両生類、爬虫類、野生動物などを見かけたら環境課に連絡してください。  
パプロ アパリシオ

### 家庭教育学級

親子のかかわり方  
子育てのコツ  
日時 2月28日(月) 午前10時～11時30分  
場所 中央公民館  
講師 今キヨ子さん(秋川あすなる保育園園長)  
内容 食事、排泄、眠り、遊びなどをテーマに学びます。  
対象 市内在住・在勤で乳幼児を持つ保護者

障がい  
理解のための  
映画上映会  
小・中学生や市民の方には障がいや障がい者に対する理解を深めていただくための映画です。  
日時 2月20日(日) 午後2時30分(2時開場)  
場所 あきる野保健相談所  
上映映画 ぼくはうみをみたくなりました  
映画の内容 自分を見失いかけていた看護学生の明日美は、ある日、愛車の黄色いワゴン車を見つけている青年・淳一に声をかける。高校時代に好意を寄せていた同級生に面影が似ていたからだ。

秋川溪谷瀬音の湯では、申込み不要  
作品展示  
期間・時間: 2月25日(金) 28日(月) 午前10時～午後4時(25日は午後1時から、28日は午後2時まで)  
テーマ: 写真展「あきる野のまつり」ほか  
場所 中央公民館  
企画・運営 市民解説員発表会実行委員会  
申込み・問合せ 中央公民館(559・1222)

明日美の誘いを断るわけでもなく、助手席に乗り込んできた淳一とともに、2人は海へと向かう。しかし、彼の言動は少し変だ。いや、少しどころじゃない。どう考えてもおかしい。偶然から始まったドライブは、旅先で出会う人々を巻き込みながら、たくさんの驚きとささやかな幸福を明日美にもたらすことに。原作の「ぼくはうみがみたくなりました」は、自閉症児・大輝(ヒロキ)君の父親である脚本家・山下久仁明氏が「一人でも多くの人が自閉症のことを知って欲しい」という想いから2002年に書き下ろした小説です。  
定員 100人(当日先着順)  
費用 無料  
問合せ 地域自立支援協議会事務局「あすく」(5332・1793)、障がい者支援障がい者相談係